

海田町消防団

消防団活動の活性化について



海田町は、四方を海と山に囲まれており、中央を流れる瀬野川を中心に、多様な自然・生命に恵まれている町です。

海田町消防団は、3つの地域分団、指導部、女性部、役場部により構成されており、地域の安心・安全のために活動しています。

【各分団等の概要】

- 地域分団（3分団）：町全域を3つの地域に分け、それぞれに分団を設置。日中に発生した火災については全分団で対応し、夜間については各分団が対応する。
- 指導部：（公財）広島県消防協会より委嘱を受けた県指導員及び各分団から1名ずつ推薦された町指導員により構成。ポンプ操法の指導に関する技術を習得し、団員への指導を行う。
- 女性部：火災等発生時における後方支援活動（無線交信の記録、食糧品配給等）を実施。また、応急手当指導員の資格を持つ団員による地域住民等を対象とした心肺蘇生法、AEDの使用に関する指導等を行う。また、児童等を対象とした防災意識啓発活動も実施している。
- 役場部：本町役場職員により構成。日中における火災対応を基本とし、消火活動に従事する。

【今後の活動について】

- 消防団員入団促進に向けた広報活動の充実
 - ・ 消防団関係訓練の他、各種行事等を活用し、消防団の活動に関する広報活動を実施し、更なる団員入団の促進に向けた活動を展開する。
- 機能別部の活性化
 - ① 女性部
 - ・ 男性中心であった消防団活動に多様な視点での活動を取り入れ、様々な年代への啓発活動を実施する。
 - ② 役場部
 - ・ 日中の火災対応力強化に向け、訓練への参加や防災に関する知識の習得を継続する。



○消防団の概要（平成29年4月1日現在）

団長 箕越 文夫

条例定数 125人

実員数 106人

（うち、男性95人・女性11人）